

『場所と意味／講演とワークショップ』

講義では「ことば」そのものがデザインの対象であることを認識し、ワークショップでは、自分自身の周辺、全ての空間に意味があることを学びました。43名の学生が参加し、講義・ワークショップを通して実に多くの「気づき・発見」がある一日でした。

- ◇講師：伊藤公文氏・鹿島建設 建築設計本部（元S D編集長）
- ◇日時：2012年7月14日（土）
- ◇場所：芝浦工業大学大宮キャンパス
- ◇講演：『場所と意味』11：00～12：00
- ◇ワークショップ：『ことばの道標を立てる』13：00～16：30
- ◇発表会：16：30～18：30
- ◇懇親会：18：30～
- ◇主催：芝浦工業大学澤田研究室+建築研究会

◇講演『場所と意味』

場所に意味を与える一般的な方法は、何らかの「構築物」を設置することである。たとえば、平地にゲートを立て、旗をなびかせ、白線をひくと、運動会の会場になる。しかし、構築物によらず「ことば」によって意味を与えることもできる。その方法は？ 有効性は？

◇ワークショップ『ことばの道標を立てる』

近隣の地域に出かけ、場所の特性を読み取り、記録するフィールドサーベイを行う。サーベイをもとに、場所の特性を「ことば」で表現し、それを記した道標を立てる。そうして立てられた道標のネットワークは、地域の新しい読みとり方を提示することになる。



ワークショップにて最優秀賞を獲得した「私の記憶」D班の皆さん

